

いのちの言の葉2014

富山県教育委員会平成26年度いのちの教育総合支援事業

「いのちのつながり」

射水市立金山小学校5・6学年
平成27年2月6日実施

【いのちの先生】

宮原 三千代先生

・臨床心理士、スクールカウンセラー

【授業の概要】

- 1 「いのちのつながりワークシート」に家系図を書き、数多のご先祖から手渡された自分の命であることに気付く。
- 2 自分の良いところ、自分が良くなりたところを書き、自己有用感につなげる。
- 3 絵本「かがやいている『いのちのまつり』」の読み聞かせを聞き、自他の命がかけがえのないものであることを確かめる。



（児童の感想）

私を産んでくれてありがとう。お父さんとお母さんが出会っていなかったら、今の私はどこにもいません。お母さんががんばって私を産んでくれたことに感謝しています。今まで、私を育ててくれてありがとう。この自分の命を大切に、子孫のためにもたくさんの一つ一つの大事な命を守っていきたいです。

（保護者より）

〇〇が生まれてから、大きな病気もせずに元気に育ってくれてありがとう。

12年前、お母さんのお腹に大切な命が宿りました。それってすごい奇跡なんだと思います。それから10ヶ月間、お母さんのお腹の中で育ち、元気に生まれてきたことも奇跡だと思います。〇〇の命は、お父さん、お母さんにとっても一番大切な命です。お父さんとお母さんの子供に生まれてきてくれてありがとう。これからもよろしくね。

（児童の感想）

命の授業を受けて、命の大切さがよくわかりました。お父さんとお母さんも20代さかのぼると、百万人をこえることがわかってびっくりしました。しかし、百万人の人がいないと私がないと思うと、先祖の人たちはとてもありがたい存在だとわかりました。これからは先祖に感謝し命を大切にしたいです。

（保護者より）

お父さんとお母さんの子供に生まれてきてくれてありがとう。〇〇が生まれてから、うれしい事、楽しい事、たくさんありましたね。初めて歩いたとき、初めて言葉を言ったとき、今もいろいろなことに挑戦したり、一生懸命取り組んだりしている姿から、力もらっています。これからもどんな時でも応援しているからね。

